



神戸キワニスクラブ

## 支援学校にサクラ 2校開校記念で寄贈

神戸市西区で4月に開校する市立いぶき明生支援学校と県立西神戸高等特別支援学校で、サクラの植樹式

が行われた。同市内で社会奉仕活動を展開する神戸キワニスクラブ（野村国世会長）が福祉バザーの収益金から拠出し、サクラを寄贈した。

いぶき明生支援学校で1月29日に行われた式には、同クラブ会員や市教委関係者ら約30人が出席。同クラブ会員で元市長の矢田立郎氏（77）が「キワニスは社会奉仕をする団体。両校の完成に合わせ、サクラを寄贈する話を持ち上がった」と経緯を説明。市教委の雪村新之助教育長が「（サクラ

は）登校の子供たちを温かく迎えてくれるだろう」と謝辞を述べた。

このあと、野村会長ら関係者が、高さ約6メートルのソメイヨシノ1本を校舎脇の植え込みに植樹した。写真。

また、県立西神戸高等特別支援学校にも同日、高さ約3メートルのシダレザクラ1本が贈られた。

いぶき明生には肢体不自由の児童・生徒ら約300人、西神戸高等特別支援学校には知的障害の約50人が通学する予定。